

YOROKOBI JEWELRY WORKS

☎024-954-8315
http://yorokobi-silver.com

photograph : Fumiharu Kanazawa



なんともゴージャスにアラベスク模様が全面に施されたライターは、鍛造職人山氏が銀板からフルハンドメイドにて製作したオイルライターケースに、Jinny'sの彫金師国本氏が総彫りを施したものだ。といってもこれだけに過ぎず、1週間かかるこのレベルのものを作り出すと工房の運営に支障をきたすため、年に1回、時間を見つけて作り上げておき、たまたま縁があって出会えた方が購入できるチャンスがあるという、言ってみれば運と縁に囲まれた逸品なのだ。人に繁栄をもたらし、永劫、永続、幸せなどを意味するアラベスクデザインを、繊細かつ大胆に思う存分彫り込んだ後、18金のイエローゴールドのコーティングを全面に施し、さらに上から削って落としていくことでできあがる金のアラベスク。物欲がやばい。販売価格は23万8000円+税。



一方こちらは、左と同じフルハンドメイドのライターケースに小さなチャームをつけ、メティスンホイールにアラベスクを刻んだ「ジョン・ロバート」のデザイン。ハリの目印のみ豪華版を保持する方もいるらしい。販売価格は4万6000円+税。



繁栄、永劫、永続、幸せを意味するアラベスクデザインはJinny'sの作品すべてに施される共通のテーマだが、時間的制約もあってここまでのはなかなか作れないし、仮にオーダーされたとしても1年待ち、2年待ちになってしまうという。半面手彫り、ちよこっと手彫りのライターであれば、1~3ヶ月の納期で製作が可能だ。



TRIJYA

☎072-970-3110
https://trijya.com



カラフルな彩りの中に刻美Type IIの柄が彫り込まれたグリップ(上)は、電子スロットル用とケーブルスロットル用があり、どちらも3万2400円(税込)。同柄のペグ(下)はロングとショートがあり、どちらも1本で1万8000円。



'02年、「刻美」(こくび)ブランドを立ち上げ、カスタム業界では他に先駆けて刻みの美しさを世に問うたトリジャ。今でこそ製作は機械によるものだが、当初は手彫りで、代表の岡本氏によれば、お客さんに他とは違う一点モノを提供したくて始めたのがきっかけだったという。そこからはご存知のように機械を導入し、無機質な美しさの中に「日本の技術力の高さ」を表現し続けてきた。そして今、手彫りの美しさが席巻する刻みの世界で、工業製品としての味を語ってやまない刻美は、当時にも増して存在感を放つた。フットボード：5万1300円 / ダービーカバー：3万7260円~3万8880円 / ポイントカバー：1万6200円他、刻美のアイテム数は無限にある。



GOROTTI CUSTOM DESIGN

☎0532-32-3181
http://www.gorotti.com

photograph : Fumiharu Kanazawa



「基本的に円の中心から放射線状にトリイバルデザイン化し、ファイヤーマークを文字のどこかに用いるようにデザイン。アルミ独特の切削加工面からなる放射線状に輝く光を楽しんでいただければ」とはHPにある文言だが、実のところ「静」の2文字にやられたのだ。真っ赤な薔薇だ。ダービーカバー：7万5000円~15万円、税別。

